

2021年12月29日

各 位

会社名 グローバルセキュリティエキスパート株式会社  
代表者 代表取締役社長 青柳 史郎  
(戸籍上の氏名 鱸 史郎)  
(コード番号：4417 東証マザーズ)  
問合せ先 代表取締役副社長 管理本部長 原 伸一  
(TEL 03-3578-9001)

### 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日「グロース市場」を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年12月20日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### ■当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、下記のとおりとなり、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、2024年3月末までに上場維持基準を充たすよう取り組んでまいります。

	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の状況 (移行基準日時点)	6,000 単位	16.8 億円	18.0%	—
上場維持基準	1,000 単位	5 億円	25.0%	40 億円
計画書に 記載の項目			○	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株式等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※時価総額における基準は、上場から10年を経過している場合に適用されるため当社は該当せず、基準日時点の時価総額は示されておりません。

##### ■上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

###### (1) 基本方針

グロース市場における上場維持は、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社であることを示すために重要であると認識しております。当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、必要な資本政策を適時に実行し、より多くの投資家の投資対象になりうることを

を目指していく方針です。

## (2) 課題

当社は、グロース市場における上場維持基準の適合にあたり、親会社の保有割合が多いことを含め、流通株式比率が低いことを課題として認識しております。

## (3) 取組内容

- ① 当社は、2021年12月20日の東京証券取引所マザーズへの新規上場にあたり、SMB C日興証券株式会社（主幹事会社）が、当社親会社である株式会社ビジネスブレイン太田昭和（貸株人）より借り入れる当社普通株式90,000株のオーバーアロットメントによる売出しを行いました。この売出しには、2022年1月14日を行使期限として、主幹事会社が貸株人より追加的に当社普通株式を買取る権利（グリーンシュエーション）が付与されており、当該オプションが行使された場合には、流通株式数が6,900単位、流通株式比率が20.7%となる見込みです。
- ② 当社は、当社従業員に対しストックオプションとしての新株予約権を付与しており、その目的となる株式数は、本書提出日現在において350,100株です。当該新株予約権が全て行使された場合には、流通株式数が10,401単位、流通株式比率が27.1%となる見込みであり、当社は、従業員に対し早期の権利行使を促す方針です。
- ③ 当社親会社である株式会社ビジネスブレイン太田昭和が保有する当社株式数は、本書提出日現在において2,160,000株であり、当社は連結子会社に該当しておりますが、同社は中長期的には当社を連結範囲から外し、持分法適用関連会社とする意向を表明しております。

計画期間につきましては、②のストックオプションとしての新株予約権のうち、第1回新株予約権（目的となる株式数153,000株）の行使期間開始日が2022年10月20日であり、第2回新株予約権（目的となる株式数197,100株）の行使期間開始日が2023年2月23日であること、③の親会社による当社株式の市場への放出は、可能な限り市場への影響が生じない方法で段階的な放出を要請していることから、2024年3月末までに上場維持基準を充たすと見込んでおります。

以上